

平成21年2月2日に発生した浅間山噴火後の対応について

浅間山噴火における緊急減災に 向けた対策準備着手及びヘリ調査を実施

記者発表資料

平成21年2月2日(月)1時51分頃に、浅間山で小規模な噴火が発生したのを受け、関東地方整備局では同局利根川水系砂防事務所と連携して今後の対応を検討し、噴火時における被害軽減の為、応急対策の準備に着手しました。また本日、浅間山上空にて関係機関と共にヘリ調査を実施し、噴石や降灰等の火山噴出物の状況を確認しました。

1. ヘリ調査

日時：平成21年2月2日(月) 12時～15時半

区域：浅間山山頂及び山麓

調査員：国土交通省関東地方整備局利根川水系砂防事務所、同省国土技術政策総合研究所、群馬県砂防課、長野県砂防課、嬬恋村、独立行政法人土木研究所に所属する職員延べ14人

調査結果：浅間山南南東斜面に薄く火山灰が堆積していますが、山麓の居住区域に直ちに影響を与えるような規模ではありません。

2. 噴火時における被害軽減対策の準備状況

群馬県吾妻郡嬬恋村三原地先において、近隣の砂防工事で発生した土砂を活用した大型土嚢の製作に着手しました。また同箇所においてブロック資材(重量3.3トン)を現在145個確保している状況です。

さらに、危険な環境下での工事も想定されることから、工事作業員の安全性確保や効率的な工事を施工するため、無人化施工機械(バックホウ)を手配することを検討しています。

3. 今後の対応

未だ浅間山の熱活動は高い状況にあることから、当面、火山活動に関する情報に注意しながら、関係機関との情報収集・提供に努め、また応急対策準備を進め、状況次第では応急対策工の検討に着手します。

平成21年2月2日
国土交通省 関東地方整備局
河川部、企画部

記者発表クラブ

竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 河川部 河川計画課
課長補佐 赤沼 隼一

TEL：048-600-1335（内線3617）

国土交通省 関東地方整備局 企画部
防災対策官 堤 盛良

TEL：048-600-1333（内線3125）



浅間山火口を北西方向から望む（15：30 時点で濃白色の噴煙がほぼ東方向に流れている。）



浅間山南南東斜面の火山灰堆積状況

完全に火山灰で覆われている範囲は火口縁から数百 m 程度の範囲のみ。その他は火山灰が斑に残っている状況である。降灰後、風により飛散し、斜面上の凹んだ箇所にはのみ火山灰残存しているものと考えられる。